

小規模企業の景況

(2024年1～3月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)2024年1～3月期の結果概要は以下の通り。今期(2024年1～3月期、調査基準日:3月1日)の業況判断DIは▲22.1と前回調査から6.5ポイント低下し、2期連続で低下した。売上額DI値は▲15.8(前回調査から10.6ポイント低下)、資金繰りDI値は▲17.2(前回調査から3.7ポイント低下)、従業員過不足DI値は▲15.4(前回調査から2.6ポイント低下)となった。「経営上の問題点」では、小売業で「仕入単価の上昇」が7期連続第1位となった。

1. 今期(2024年1～3月期)の状況

【売上額】今期(2024年1～3月期)の売上額DI(全産業)は、前回調査(2023年10～12月期)の▲5.2から10.6ポイント低下し、▲15.8となった。業種別では前回調査から、製造業が11.4ポイント、卸売業が19.4ポイント、小売業が0.2ポイント、サービス業が11.4ポイント、全業種で低下した。

【資金繰り】今期の資金繰りDI(全産業)は、前回調査(▲13.5)から3.7ポイント低下し、▲17.2となった。業種別では前回調査から、製造業が1.4ポイント、卸売業が3.3ポイント、小売業が1.0ポイント、サービス業が8.9ポイント、全業種で低下した。

【業況判断】今期の業況判断DI(全産業)は、前回調査(▲15.6)から6.5ポイント低下し、▲22.1となった。業種別では前回調査から、製造業が11.6ポイント、卸売業が3.3ポイント、小売業が10.0ポイント、サービス業が1.2ポイント、全業種で低下した。

【従業員数過不足】今期の従業員数過不足DI(全産業)は、前回調査(▲12.8)から▲2.6ポイント低下し、▲15.4となった。業種別では前回調査から、製造業が5.3ポイント、卸売業が1.6ポイント、サービス業が5.1ポイントそれぞれ低下し、小売業は2.6ポイント上昇した。

2. 来期(2024年4～6月期)の予想

来期(2024年4～6月期)の全産業の予想DIは、売上額▲9.5、資金繰り▲15.8、業況判断は▲18.2となった。

3. 経営上の問題点

製造業・卸売業で「需要の停滞」、小売業で「仕入単価の上昇」、サービス業で「利用者ニーズの変化への対応」が第1位となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(2023年1～3月期)と比較して売上額、業況判断、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

本件担当：大阪商工会議所 中小企業振興部 経営相談室 06-6944-6451

【調査の概要】

- ・調査名:第175回中小企業景況調査(中小企業庁・中小企業基盤整備機構)
- ・調査時期:2024年2月16日～3月1日(前回:2023年11月1日～11月15日)
- ・調査方法:経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
- ・調査対象:大阪市内の中小企業・小規模事業者
 - ※ 全国18,833件中(商工会議所調査対象7,896件)、大阪商工会議所分324件。
 - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者(従業員:製造業20人以下、商業・サービス業5人以下)285件について取りまとめた。
[製造業79件、卸売業62件、小売業65件、サービス業79件]

■DI推移(全産業)

	172回調査	173回調査	174回調査 (前回)		175回調査 (今回)	
	2023年(R5) 4～6月期	2023年(R5) 7～9月期	2023年(R5) 10～12月期	2024年(R6) 1～3月期	2024年(R6) 1～3月期	2024年(R6) 4～6月期
売上額(増-減)	6.1	7.6	-5.2	7.3	-15.8	-9.5
資金繰り(好-悪)	-9.3	-9.0	-13.5	-15.2	-17.2	-15.8
業況(好-悪)	-7.2	-3.6	-15.6	-14.5	-22.1	-18.2
従業員(過-不)	-11.8	-11.2	-12.8	-	-15.4	-

■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	需要の停滞 ↑	19 (16)	需要の停滞 ↑	20 (15)	仕入単価の上昇 →	11 (21)	利用者ニーズの 変化への対応 ↑	11 (13)
2位	原材料価格の上昇 ↓	17 (23)	仕入単価の上 昇 ↓	18 (21)	消費者ニーズの 変化への対応 ↑	10 (6)	材料等仕入単 価の上昇 ↓	8 (16)
3位	生産設備の不足・老朽化 →	9 (7)	販売単価の低下・ 上昇難 →	4 (4)	需要の停滞 ↓	9 (8)	需要の停滞 →	8 (10)

[注] () 内は前回(2023年10～12月期)調査結果

↑=前回より高順位

→=前回と同順位

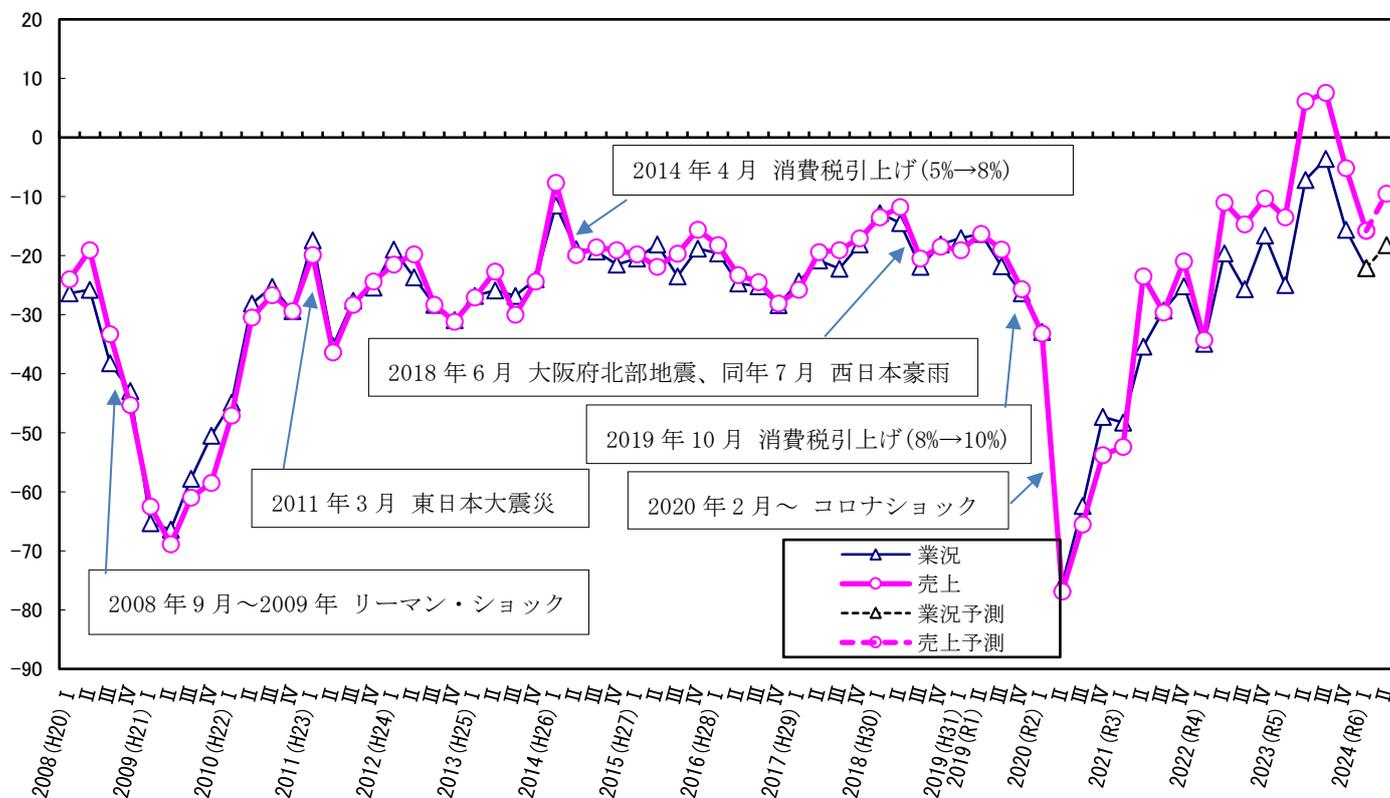
↓=前回より低順位

■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(1～3月期)				前回(10～12月期)からの推移	来期の予想(4～6月期)			
		増加	不変	減少	増一減		増加	不変	減少	増一減
売上額										
	製造業	20.3	41.8	38.0	▲ 17.7	▲ 11.4	22.8	43.0	34.2	▲ 11.4
	卸売業	11.3	41.9	46.8	▲ 35.5	▲ 19.4	14.5	45.2	38.7	▲ 24.2
	小売業	27.7	40.0	32.3	▲ 4.6	▲ 0.2	33.8	30.8	35.4	▲ 1.5
	サービス業	27.8	36.7	35.4	▲ 7.6	▲ 11.4	27.8	41.8	30.4	▲ 2.5
	合計	22.1	40.0	37.9	▲ 15.8	▲ 10.6	24.9	40.4	34.4	▲ 9.5
	前回	31.8	31.1	37.0	▲ 5.2		26.6	39.4	33.9	▲ 7.3
資金繰り		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	5.1	77.2	17.7	▲ 12.7	▲ 1.4	7.6	73.4	19.0	▲ 11.4
	卸売業	0.0	80.6	19.4	▲ 19.4	▲ 3.3	1.6	79.0	17.7	▲ 16.1
	小売業	6.2	64.6	29.2	▲ 23.1	▲ 1.0	7.7	56.9	35.4	▲ 27.7
	サービス業	8.9	65.8	24.1	▲ 15.2	▲ 8.9	12.7	63.3	22.8	▲ 10.1
	合計	5.3	71.9	22.5	▲ 17.2	▲ 3.7	7.7	68.1	23.5	▲ 15.8
	前回	8.0	68.9	21.5	▲ 13.5		7.6	67.5	22.8	▲ 15.2
業況		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	10.1	50.6	39.2	▲ 29.1	▲ 11.6	15.2	49.4	34.2	▲ 19.0
	卸売業	4.8	56.5	38.7	▲ 33.9	▲ 3.3	4.8	59.7	30.6	▲ 25.8
	小売業	9.2	55.4	35.4	▲ 26.2	▲ 10.0	13.8	44.6	36.9	▲ 23.1
	サービス業	27.8	41.8	30.4	▲ 2.5	▲ 1.2	21.5	49.4	29.1	▲ 7.6
	合計	13.7	50.5	35.8	▲ 22.1	▲ 6.5	14.4	50.5	32.6	▲ 18.2
	前回	20.8	42.9	36.3	▲ 15.6		16.6	47.8	31.1	▲ 14.5
従業員		過剰	適正	不足	過一不					
	製造業	0.0	74.7	22.8	▲ 22.8	▲ 5.3				
	卸売業	0.0	83.9	9.7	▲ 9.7	▲ 1.6				
	小売業	3.1	70.8	9.2	▲ 6.2	2.6				
	サービス業	3.8	69.6	24.1	▲ 20.3	▲ 5.1				
	合計	1.8	74.4	17.2	▲ 15.4	▲ 2.6				
	前回	2.1	76.1	14.9	▲ 12.8					

「今期の状況（除従業員）」は2024年1～3月期状況であり、前年同期の2023年1～3月期との比較。来期の予想は2024年4～6月期予想であり、2023年4～6月期との比較である。「前回」欄は2023年10～12月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値=D I（増加・好転—減少・悪化）値

※ I 期=1-3月、II 期=4-6月、III 期=7-9月、IV 期=10-12月

※2024年 II 予想値